

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社ケーエムケー)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに記入)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営者が積極的に関与している(相談窓口の設置など)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3		
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本		【予定】	【予定】ハラスメントを禁止する旨を教育する。研修の実施、相談窓口の設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8				
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働基準法等の改正内容を経営者と共有している。長時間労働は正のための労働生産の改善、時間外申告制度の実施								8.5 8.8				
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		現在外国人は雇用していない				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3		
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			5S活動における危険箇所の確認、社内勉強会の実施			3					8				
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本		【予定】	メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修実施を計画			3									
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			活躍できる場を設け、HPなどで情報を発信する					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3		
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			職務の必要に応じた研修を実施している				4	5.5			8	9			
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働法改正を理解し、同一労働賃金等の原則に沿った体制の整備、対応している					5.5			8.5		10.2 10.3		
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			都道府県協会けんぽ、健保連に「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている			3					8				
11 環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			産業廃棄物業社が適切に改修を行い、manifestoを受領している										11.6	12.4	14.1
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			LCAの取り組み。算定ツールを利用して排出量を把握する							7.3					13
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			LCAの取り組み。算定ツールを利用して排出量を把握し、削減の計画を策定と実施を行う							7.2 7.3				12.4	13.3
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令で規制されている有害物質を把握し、不使用証明等顧客に提出している			3.9			6.3				11.6	12.4	

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由を記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			産業廃棄物の徹底管理他						6.6								
16	【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			海洋汚染につながるプラスチック製容器、使い捨てプラスチック使用の再利用・削減の推進												12.5		14.1
17	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			水利用状況を把握し、使用量が適正になるよう管理している						6.4 6.6								
18環境	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			ソニーグリーンパートナーを取得している			3.9			6	7					12	13.3	14
19	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			自社HPIにて環境理念、憲章、方針を示し、活動している												12.6		
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	工場、オフィスへの太陽光パネル等設置する							7.2						13	
21	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			認証製品を利用している。非法材の不使用確認を行っている												12.2	13	14
22	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている														
23	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為を含む行動規範の整備と社内浸透を図っている														
24	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			特許・商標等知的財産権の取得・管理を行なっている								8.2 8.3	9					
25公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本		【予定】	「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備する														
26	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			自社製品の原材料サプライチェーンを把握している														
27	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行う					5			8		10		12	13	14
28	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	宣言に向けて作成・公表準備			3					8	9	10				

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の場 合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由を記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している			3.9									12.4		
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			顧客と品質情報の共有化、入荷情報をベースにパートナー企業へ教育訓練の実施、源流での品質改善に努める									9					
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			製品の加飾処理などにおいて有害物質を使わない提案を行っている						6						12	13	14
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			再生プラスチックの開発サポート、バイマスプラスチックの開発サポートの事業化	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域企業団体によせられる地域の影響を把握し改善に努めている				4					9		11	12		14
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			中学校にプロジェクターを寄付、県内展示会でサーキュラーエコノミーの取り組み説明とサンプル出展、地元のプロスポーツチームのスポンサーなど				4							11			14
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			近隣の企業との連携を最優先したもののづくりネットワークの構築								8	9		11	12	13	
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営理念の明文化、社員に説明、共有している								8	9					
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			グループウェア等で法令遵守の重要性を全従業員に向け発信している														
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			責任者、CSR管理者を任命している														
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			ステークホルダーに対し、自社活動がステークホルダーへの影響を把握し、対応している														
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		【予定】	リスクマップなどでリスクを洗い出し、評価を行い、対策を講じる														
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	CSR方針の策定、マネジメントプロセスを整備する														
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	BCPの策定、定期的な訓練の実施									9		11		13 13.1	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		【予定】	後継者に向け、サクセッションプランを作成、検討を進める								8	9					

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス賞、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定